

2014年2月20日 全7頁

Indicators Update

1月貿易統計

輸出の伸びは想定を下回り、貿易収支赤字幅は単月で過去最大に

経済調査部
エコノミスト 齋藤勉

[要約]

- 2014年1月の貿易統計は、輸出金額が前年比+9.5%と11ヶ月連続の増加となったものの、市場コンセンサス(同+12.7%)を下回った。輸出金額を価格と数量に分けて見ると、輸出価格は前年比+9.7%と、上昇が続いている。一方で、輸出数量が前年比▲0.2%と4ヶ月ぶりに前年を下回ったことが、輸出金額の下振れ要因となった格好である。輸出金額を季節調整値で見ても、前月比▲3.5%と2ヶ月ぶりの減少となった。
- 輸出数量指数を季節調整値で見ると(季節調整は大和総研による)、前月比▲0.7%と、2ヶ月連続の低下となった。地域別に見ると、米国向けは同+7.4%と増加したものの、EU向け(同▲3.1%)、アジア向け(同▲3.2%)が減少したことで、全体が押し下げられた形である。ただし、アジア向けの減少は春節が影響しているとみられるため、一時的な減速と捉えて良いだろう。
- 先行きに関しては、輸出数量は全地域向けで持ち直しの動きが続く見込みである。景気拡大が続くとみられる欧米向けを中心に、輸出は徐々に増勢を強めるだろう。
- 大和総研では、2013年の貿易収支赤字11.5兆円のうち、4兆円が原発停止に伴う輸入増によるもの、7兆円が空洞化の影響によるものとみており、短期的には貿易収支黒字化のハードルは非常に高い。ただし、2014年半ば以降、世界経済の循環的な回復などを背景に、貿易収支の赤字幅は徐々に縮小する見通しである。

図表1：貿易統計の概況(原系列、前年比、%)

	2013年									2014年 1月
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
輸出金額	10.1	7.4	12.2	14.6	11.5	18.6	18.4	15.3		9.5
コンセンサス DIR予想										12.7 14.6
輸入金額	10.1	11.8	19.7	16.1	16.6	26.2	21.2	24.7		25.0
輸出数量 価格	▲1.2	▲5.0	1.8	1.9	▲1.8	4.4	6.2	2.5		▲0.2 9.7
輸入数量 価格	▲2.2	▲5.0	2.4	▲1.9	▲2.1	6.4	5.0	4.7		8.0 15.7
貿易収支	▲9,981	▲1,817	▲10,295	▲9,679	▲9,378	▲10,967	▲12,977	▲13,042		▲27,900

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

輸出数量は2ヶ月連続で前月比減少

2014年1月の貿易統計は、輸出金額が前年比+9.5%と11ヶ月連続の増加となったものの、市場コンセンサス(同+12.7%)を下回った。輸出金額を価格と数量に分けて見ると、輸出価格は前年比+9.7%と、上昇が続いている。一方で、輸出数量が前年比▲0.2%と4ヶ月ぶりに前年を下回ったことが、輸出金額の下振れ要因となった格好である。輸出金額を季節調整値で見ても、前月比▲3.5%と2ヶ月ぶりの減少となった。

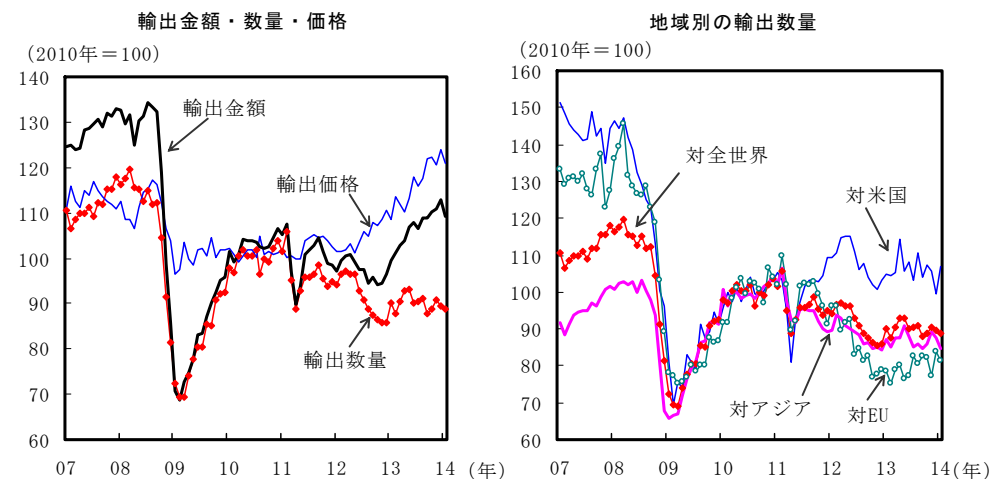
輸出数量指数を季節調整値で見ると(季節調整は大和総研による)、前月比▲0.7%と、2ヶ月連続の低下となった。地域別に見ると、米国向けは同+7.4%と増加したものの、EU向け(同▲3.1%)、アジア向け(同▲3.2%)が減少したことで、全体が押し下げられた形である。

米国向け輸出数量の増加は、前月減少した乗用車や自動車の部分品の輸出が回復した影響が大きい。EU向けでは、このところ増加が続いていた一般機械や輸送用機器などの機械類の輸出が減速したことで、一時的に減少した模様である。ただし、EU向けの輸出数量は均してみれば増加基調を保っている。アジア向けの輸出数量のなかでは、中国向けの減少幅が大きい。アジアNIEs向けの輸出も落ち込んでおり、中華圏向け輸出が減速したことが、アジア向け輸出の押し下げ要因となっている。これは、2013年の春節が2月9日~2月15日であったのに対し、2014年は1月31日~2月6日と10日ほど前にずれ込んだことが影響しているとみられるため、アジア向け輸出の落ち込みは一時的なものと思えてよいだろう。

2014年1月は過去最大の貿易赤字を記録

2014年1月の輸入金額は、前年比+25.0%と15ヶ月連続で前年を上回った。輸入価格が同+15.7%と上昇が続いていることに加え、国内の景気回復を背景に輸入数量が同+8.0%と4ヶ月連続で前年を上回ったことが、輸入金額を押し上げている。この結果、貿易収支は▲2兆7,900億円と、19ヶ月連続の赤字となった。1月は輸出が少ないことで、貿易収支は赤字に振れやすい傾向があるものの、単月の貿易収支で見れば、過去最大の赤字幅を記録することになった。

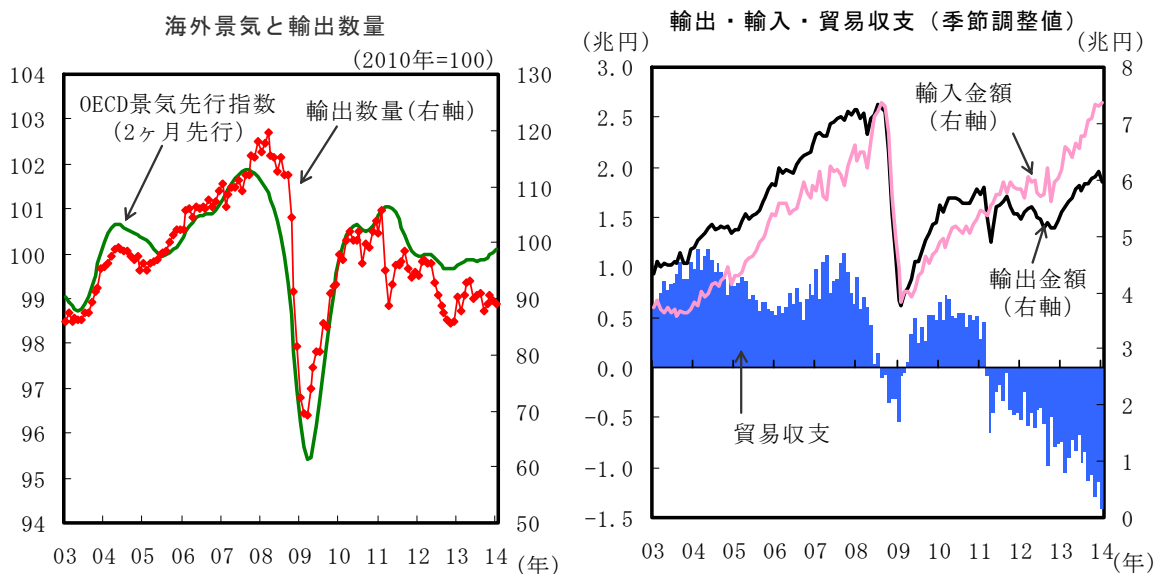
図表2：輸出金額・数量・価格と地域別輸出数量の推移(季節調整値)



輸出数量は海外景気の拡大により、持ち直しの動きが続く見込み

輸出数量の先行きに関しては、輸出数量は全地域向けで持ち直しの動きが続く見込みである。米国では、足下の堅調な個人消費と比べて輸入数量が伸び悩んでいるものの、景気拡大が続くことによって、徐々に日本からの輸入も増加するとみられる。さらに、欧州に関しては、2013年を底に景気は拡大傾向が続くと見込まれることから、EU 向けの輸出も増勢を強める公算が大きい。中国経済の減速などから、アジア経済の改善ペースは緩やかなものに留まる見込みであるものの、アジア向けに関しても、輸出は徐々に増加基調が続くとみている。

図表3：海外景気と輸出数量、貿易収支



(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

空洞化と原発停止で貿易収支赤字幅が拡大

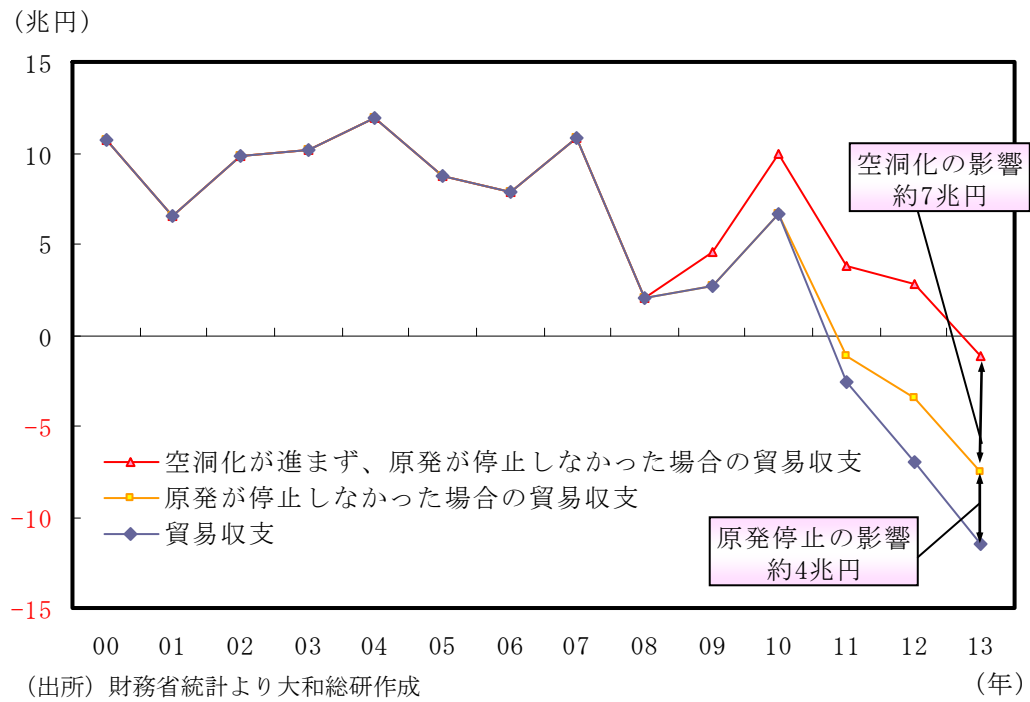
貿易収支の先行きについては、国内景気拡大を背景とする輸入数量の増加を主因として、貿易収支は赤字傾向での推移が続く見込み。大和総研では、2013年の貿易収支赤字 11.5 兆円のうち、4 兆円が原発停止に伴う輸入増によるもの、7 兆円が空洞化の影響によるものとみている(図表4)。

黒字化のハードルは高いものの、貿易収支赤字幅は徐々に縮小する見込み

原発再稼働の動きが急速に進展するとは考えにくいこと、空洞化の流れを是正するには相当程度の時間を要するとみられることなどから、向こう数年間というスパンで見れば、貿易収支黒字化のハードルは非常に高い。

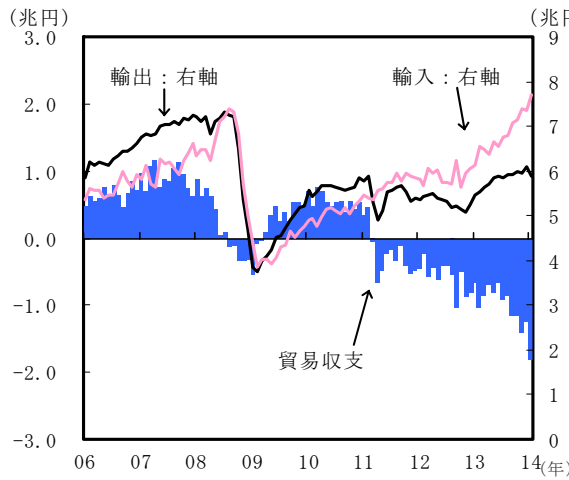
ただし、前述の通り輸出数量は持ち直していくとみていること、消費税増税後、輸入数量も反落する可能性が高いことから、2014年半ば以降、貿易収支の赤字幅は徐々に縮小する見通しである。

図表4：空洞化、原発停止が貿易収支に与える影響



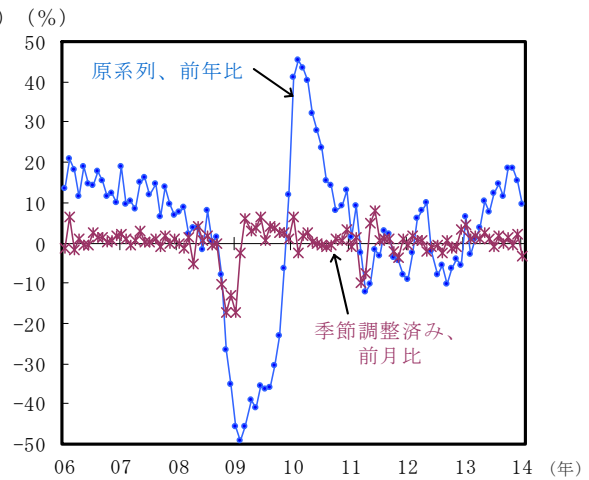
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

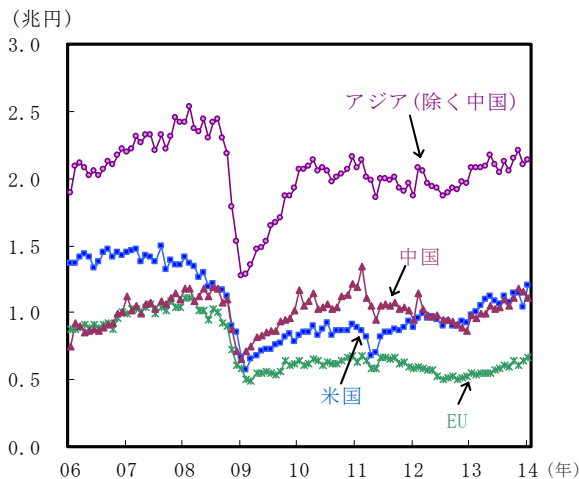


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

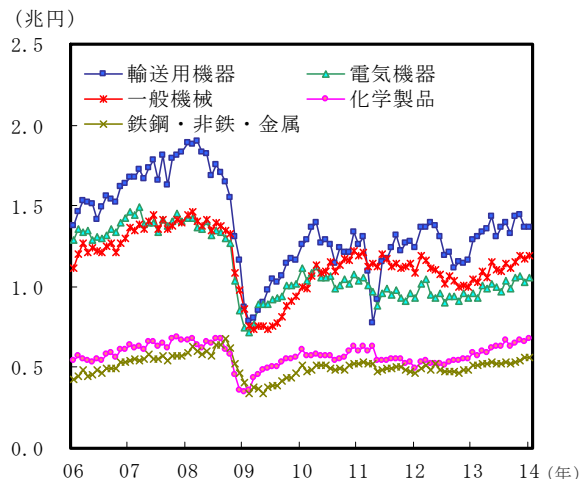


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

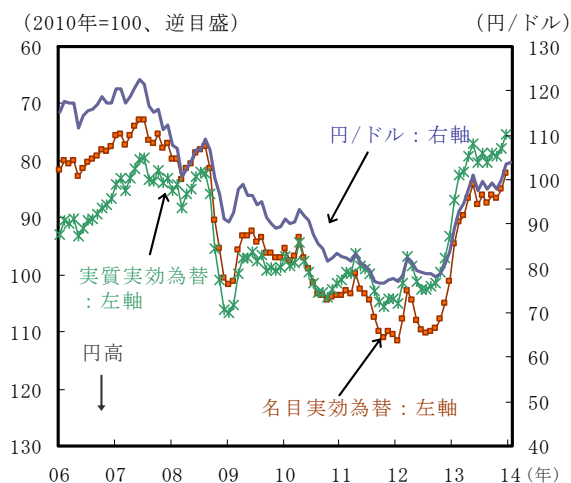


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

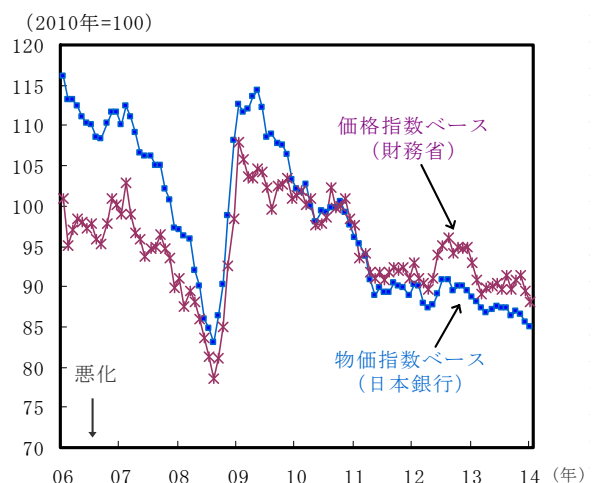


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳									
	2013/08	2013/09	2013/10	2013/11	2013/12	2014/01			
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%	pt
総額	14.6	11.5	18.6	18.4	15.3	9.5	100.0	9.5	
食料品	35.3	20.6	29.2	24.2	26.8	10.8	0.6	0.1	
原料品	17.2	13.2	8.9	7.1	▲0.3	▲4.3	1.6	▲0.1	
鉱物性燃料	42.3	72.8	80.8	77.9	39.0	55.1	2.3	0.9	
化学製品	25.8	15.9	19.6	21.3	19.9	14.6	11.9	1.7	
原料別製品	13.5	7.1	13.3	13.0	14.0	7.3	13.0	1.0	
鉄鋼	12.1	7.6	13.4	15.4	19.4	14.4	5.8	0.8	
非鉄金属	21.3	16.8	17.1	2.2	8.7	▲2.9	2.0	▲0.1	
金属製品	13.4	5.5	16.3	18.8	12.3	8.7	1.5	0.1	
一般機械	7.3	7.7	15.1	18.5	17.3	13.6	18.8	2.5	
電気機器	10.7	5.3	15.0	12.0	10.9	10.1	16.3	1.6	
半導体等電子部品	13.2	1.4	9.7	3.7	6.1	8.1	4.9	0.4	
IC	15.8	2.4	8.6	2.7	3.9	5.8	3.3	0.2	
映像記録・再生機器	▲12.5	▲20.9	▲9.8	0.1	15.0	▲14.5	0.6	▲0.1	
音響・映像機器の部分品	▲11.6	14.3	19.9	7.5	▲0.1	0.2	0.4	0.0	
電気回路等の機器	10.0	1.6	12.6	10.7	8.7	13.7	2.4	0.3	
輸送用機器	15.2	19.1	24.0	25.6	17.1	6.0	24.2	1.5	
自動車	21.0	29.9	31.4	30.1	18.3	13.9	14.8	2.0	
自動車の部分品	12.2	6.5	17.5	15.7	17.3	7.7	4.8	0.4	
その他	18.3	3.9	16.9	12.4	11.6	2.8	11.3	0.3	
科学光学機器	10.5	0.1	6.0	10.8	15.7	10.7	3.2	0.3	

米国向け輸出金額 内訳									
	2013/08	2013/09	2013/10	2013/11	2013/12	2014/01			
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%	pt
総額	20.6	18.8	26.5	21.2	13.0	21.9	100.0	21.9	
食料品	51.4	39.7	37.5	16.9	14.1	33.7	0.5	0.1	
原料品	18.8	5.8	148.5	▲16.1	▲39.6	34.9	0.5	0.2	
鉱物性燃料	▲58.0	▲34.7	▲87.0	59.0	▲3.1	▲41.9	0.0	▲0.0	
化学製品	29.4	17.4	31.6	13.4	15.3	30.6	6.3	1.8	
原料別製品	16.1	0.9	14.9	17.2	9.9	17.5	7.1	1.3	
鉄鋼	22.4	▲10.9	22.3	20.5	19.1	20.4	2.1	0.4	
非鉄金属	▲11.9	3.7	5.3	48.5	40.8	29.0	0.5	0.1	
金属製品	18.4	5.1	8.3	10.3	▲7.0	23.9	1.7	0.4	
一般機械	10.8	3.5	14.9	17.3	9.9	17.6	22.4	4.1	
電気機器	9.0	11.8	20.9	12.6	6.1	20.9	14.7	3.1	
半導体等電子部品	18.6	14.0	16.4	0.1	▲0.0	15.4	1.9	0.3	
IC	29.6	17.4	13.3	1.6	▲1.3	11.6	1.1	0.1	
映像記録・再生機器	▲27.4	▲23.6	▲17.5	12.1	30.3	▲6.9	0.8	▲0.1	
音響・映像機器の部分品	▲74.0	54.0	▲5.6	9.5	27.4	17.7	0.2	0.0	
電気回路等の機器	21.8	13.0	26.7	10.7	3.8	25.9	1.7	0.4	
輸送用機器	32.0	39.1	32.9	30.5	14.8	21.0	39.0	8.3	
自動車	35.8	49.6	39.1	38.5	18.6	20.6	27.3	5.7	
自動車の部分品	19.8	8.6	16.4	3.6	▲3.8	10.2	6.5	0.7	
その他	28.8	19.3	41.3	13.6	32.5	35.8	9.6	3.1	
科学光学機器	12.0	5.9	21.5	11.7	4.5	10.3	1.9	0.2	

EU向け輸出金額 内訳									
	2013/08	2013/09	2013/10	2013/11	2013/12	2014/01			
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%	pt
総額	18.1	14.3	27.1	19.5	23.1	20.2	100.0	20.2	
食料品	56.4	48.8	36.2	25.9	43.7	35.9	0.3	0.1	
原料品	9.3	2.6	▲6.5	24.7	14.6	36.5	1.4	0.5	
鉱物性燃料	2925.7	2765.2	3601.9	466.3	620.8	13.3	0.3	0.0	
化学製品	14.1	6.1	22.6	30.7	22.5	17.4	9.1	1.6	
原料別製品	17.6	▲1.6	4.7	13.6	5.3	15.0	6.9	1.1	
鉄鋼	37.7	▲12.1	▲12.4	13.4	▲7.2	66.6	1.0	0.5	
非鉄金属	▲2.2	▲42.0	▲23.9	▲28.2	▲31.0	▲45.5	0.6	▲0.7	
金属製品	9.9	3.9	▲2.9	20.4	7.2	14.4	1.5	0.2	
一般機械	13.4	13.8	24.7	22.8	32.8	24.5	27.0	6.4	
電気機器	18.9	10.6	25.7	19.2	20.4	24.1	18.5	4.3	
半導体等電子部品	14.3	16.2	35.2	29.2	20.8	25.7	2.7	0.7	
IC	33.2	24.2	40.9	30.7	28.3	29.7	1.7	0.5	
映像記録・再生機器	▲4.5	▲33.3	▲8.9	▲12.7	2.4	9.4	1.1	0.1	
音響・映像機器の部分品	3.2	57.3	80.6	▲2.3	7.2	10.2	0.6	0.1	
電気回路等の機器	17.7	22.1	29.5	30.2	21.5	29.9	1.8	0.5	
輸送用機器	23.8	31.2	31.1	20.9	29.0	22.5	23.3	5.1	
自動車	32.1	65.1	47.6	34.9	56.5	53.3	13.8	5.7	
自動車の部分品	13.8	8.3	▲2.6	▲12.7	0.7	▲13.6	4.6	▲0.9	
その他	8.6	▲8.1	28.0	8.4	11.4	7.1	13.1	1.0	
科学光学機器	0.1	3.4	15.1	10.0	20.1	8.8	3.0	0.3	

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2013/08	2013/09	2013/10	2013/11	2013/12	2014/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	13.5	8.2	14.8	18.9	15.9	5.8	100.0	5.8
食料品	27.9	12.6	28.6	29.3	28.0	2.9	0.8	0.0
原料品	18.7	13.4	2.1	7.7	1.4	▲11.4	2.4	▲0.3
鉱物性燃料	36.9	53.9	78.1	59.0	39.7	51.9	3.5	1.3
化学製品	25.4	14.3	18.2	20.4	19.0	12.6	17.3	2.0
原料別製品	10.1	7.8	13.6	10.6	12.4	3.0	16.9	0.5
鉄鋼	7.4	10.4	13.8	11.8	14.0	9.1	8.2	0.7
非鉄金属	21.7	15.5	19.3	0.2	15.2	▲1.9	3.3	▲0.1
金属製品	9.8	1.9	22.0	21.7	18.5	3.9	1.6	0.1
一般機械	6.2	7.1	13.4	20.9	17.9	7.3	17.1	1.2
電気機器	10.3	1.8	11.0	11.7	10.9	4.3	19.9	0.9
半導体等電子部品	12.7	▲0.6	7.6	3.0	6.1	6.4	8.0	0.5
IC	14.2	0.5	7.1	1.7	3.3	4.2	5.7	0.2
映像記録・再生機器	▲7.7	▲12.8	▲7.7	8.4	19.9	▲25.2	0.5	▲0.2
音響・映像機器の部分品	3.0	▲4.6	16.8	16.1	2.3	5.8	0.5	0.0
電気回路等の機器	8.6	▲3.3	8.4	10.2	8.0	9.4	3.3	0.3
輸送用機器	12.3	8.6	20.2	46.7	38.3	7.0	8.4	0.6
自動車	6.6	18.1	46.5	55.0	39.9	10.6	3.5	0.4
自動車の部分品	9.2	▲0.2	18.5	36.2	32.5	4.4	3.8	0.2
その他	16.4	5.6	10.6	15.4	9.0	▲2.6	13.7	▲0.4
科学光学機器	17.1	2.3	5.0	14.5	19.7	11.8	4.4	0.5

中国向け輸出金額 内訳								
	2013/08	2013/09	2013/10	2013/11	2013/12	2014/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	15.8	11.4	21.2	33.0	34.4	13.1	100.0	13.1
食料品	34.1	▲14.5	16.1	38.3	46.7	8.8	0.2	0.0
原料品	21.8	17.2	4.5	4.4	▲1.3	▲24.0	3.2	▲1.1
鉱物性燃料	▲1.1	▲15.7	40.5	55.5	21.8	40.8	1.4	0.5
化学製品	42.8	20.9	26.0	33.7	38.1	19.6	19.9	3.7
原料別製品	8.2	6.0	19.8	23.8	24.7	3.7	12.9	0.5
鉄鋼	4.8	14.2	31.5	46.3	55.7	37.6	5.2	1.6
非鉄金属	▲3.5	▲7.5	5.4	▲15.5	▲9.7	▲27.7	2.5	▲1.1
金属製品	13.7	▲3.0	29.1	51.4	49.6	14.9	1.6	0.2
一般機械	8.2	16.8	10.3	37.6	43.6	11.0	17.5	2.0
電気機器	9.9	2.5	15.5	20.8	19.8	10.6	21.6	2.3
半導体等電子部品	11.0	▲2.8	6.3	▲0.7	▲1.0	6.2	8.4	0.6
IC	12.6	▲7.1	▲0.8	▲4.6	▲9.4	▲1.6	5.8	0.1
映像記録・再生機器	▲14.0	▲22.1	▲5.9	27.6	34.3	▲38.9	0.4	▲0.3
音響・映像機器の部分品	17.9	▲6.0	45.4	34.6	13.7	9.8	0.8	0.1
電気回路等の機器	12.2	▲7.0	11.6	18.2	15.4	20.5	3.6	0.7
輸送用機器	16.6	29.8	107.9	150.1	120.1	54.7	9.4	3.8
自動車	5.4	52.8	348.4	241.6	162.8	115.7	4.0	2.4
自動車の部分品	26.3	15.0	54.7	109.1	95.9	26.2	5.2	1.2
その他	18.4	7.0	9.5	14.4	23.5	10.4	13.8	1.5
科学光学機器	31.4	17.1	14.0	20.9	22.6	18.6	7.0	1.2

(出所) 財務省統計より大和総研作成